

<地域ネットワーク部会：平成26年度事業計画の評価>

1. 八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分（診断のみ、診断+治療、治療開始後など）」を集計し、診療実態を明らかにする。
目 標：2015年3月までに院内がん登録データを収集し、院内がん登録データを用いて症例区分を集計する。
実 績：支援病院で院内がん登録業務が始まったばかりのため、次年度調査を行う。
評 価：3点
次年度：次年度調査を行う。
2. がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。
目 標：2015年3月までに、離島、院内、かかりつけ施設、一般向けに研修会を行う。
実 績：10月に前立腺がん地域連携クリティカルパス研究会を日本泌尿器科学会沖縄地方会と共催で開催した。泌尿器科の専門医やかかりつけ医の先生方38名が参加し、大変好評を得た。3月までには、院内研修会と離島への研修会を開催予定。
評 価：5点
次年度：クリティカルパスの認知度の向上のため、次年度も継続する。
3. 私のカルテの改訂を行う。
目 標：2014年6月までに私のカルテ（A5版）を配布及びHPに公開する。
実 績：大腸がん術後フォローパス、前立腺がん術後フォローパスの私のカルテA5版を作成し、沖縄県がん診療連携協議会HPに掲載した。
評価：8点
次年度：次年度は、残りの疾患（肺・胃・肝・乳がん）の私のカルテを順次改訂する。
4. がん診療連携の在り方を検討する
目 標：2015年3月までに各地区医師会とのコミュニティの場を設定し、沖縄県のがん医療連携における課題・要望を把握する。
実 績：連携の進んでいる浦添市をモデル地区にすることが決まり、まずは、浦添市医師会から推薦のあった池村クリニックとパスの連携を行うことになった。
評 価：5点
次年度：浦添総合病院に池村クリニックとパスの連携をして頂くよう依頼し、連携後、意見を伺う
5. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成する
目 標：2015年6月までに化学療法のパスを作成する。
実 績：作成中である大腸がんの化学療法のパス見直しを行っている。
評 価：3点
次年度：引き続き取り組む
6. 術後フォロー以外の前立腺がん地域連携パスを作成する
目 標：2014年3月までに、術後以外のパスを作成し、4月に研修会を行う
実 績：中部病院・琉大病院の泌尿器医師がPSA二次検診クリティカルパスを作成し、10月に研究会を行った。
評 価：10点
7. 肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行い、適用数を増やす。
目 標：2015年3月までに肺がん10人、胃がん30人、肝がん10人、大腸がん60人、乳がん120人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

実績：大腸がんの地域連携パスの簡素化の改訂を行った。3拠点病院合計で、肺がん5人、胃がん20人、肝がん3人、大腸がん64人、乳がん163人適用した。

評価：7点

次年度：引き続きパスの運用強化を行い、大腸がん以外の疾患（肺・胃・肝・乳がん）の連携パスの簡素化の改訂を行う。

8. 前立腺がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目標：2015年3月までに前立腺がん10人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

実績：3拠点病院合計で8人適用した。中部病院・琉大病院の泌尿器医師がPSA二次検診クリティカルパスを作成し、10月に研究会を行った。

評価：7点

次年度：次年度引き続き、運用の強化を行う。

9. 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携パスを緩和ケア部会と合同で作成・運用する

目標：2015年3月まで1人に緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスを運用する。

実績：緩和ケア部会と地域ネットワーク部会の協力で、在宅緩和ケア地域連携パス（ていーあんだパス）を作成し、運用を開始した。浦添市の勉強会に広報や内容について意見求めるなど運用を進めている。

評価：8点

次年度：引き続き、運用の強化を行う。

10. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する

目標：毎年、部会委員が発表する2015年3月までに論文を作成する

実績：第15回日本クリニカルパス学会

開催日 平成26年11月14日～15日

会場 グランディア芳泉（福井県）

演題）沖縄県在宅緩和ケア地域連携パス「ていーあんだ」作成の取り組み

演者）那覇市立病院 高江洲アヤ子

評価：10点

次年度：次年度も継続する。

平成 2 6 年度第 4 回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時 : 平成 2 7 年 1 月 2 8 日 (水) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 2 5

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 1 3 名

出席者 : 1 0 名

照屋 淳 (北部医師会病院)、川満 博昭 (県立宮古病院)、鈴木 英章 (八重山病院)、高江洲 和代 (那覇市立病院)、高江洲 アヤ子 (那覇市立病院)、真鶴 善栄 (がん患者会連合会)、佐村 博範 (琉大病院)、宮城 みづえ (琉大病院) 増田 昌人 (琉大病院)、仲本奈々 (琉大病院)

欠席者 : 宮里 浩 (那覇市立病院)、上田 真 (中部病院)、翁長 悦子 (中部病院)、

陪席者 : 南 大介 (よりよい地域医療を応援する会)、呉屋葉子 (琉大病院)

[報告事項]**1. 平成 2 6 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について**

増田委員より、平成 2 6 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

増田委員より、平成 2 6 年 1 2 月 3 1 日現在の 3 拠点病院のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について報告があった。

3. 在宅緩和ケア地域連携パス (ていーあんだパス) について

高江洲アヤ子委員より、沖縄県在宅緩和ケア地域連携パス (ていーあんだパス) の概要、ていーあんだ「わたしのカルテ」(患者用)、ていーあんだパス (在宅医・訪問看護用) の 2 種類の内容について説明があった。運用は 2 例目で、浦添医師会やクリニックなど訪問した時に説明していることが報告された。那覇市立病院の HP にはまだ掲載はされていないが、内容がまとまったら、協議会の HP に掲載するとのことだった。佐村部会長より、概要の「①患者・家族と協働して退院に向けた準備をするための情報ツール (病院)」とは、どの段階で調整を行っているのかと質問があり、高江洲アヤ子委員より、患者の希望の段階で始めて、準備にかかる期間は 2 週間以内と回答があった。佐村部会長より、外来化学の時にはやっていた方がいいのではと意見があった。また、宮城委員より、訪問診療・訪問看護を選ぶときに、登録しているところから選ぶのかと質問があり、特化した算定はないため、登録施設でなくてもいい。説明をして了承が得られたらつなぐと回答があった。

真鶴委員より、今年度からがん患者連合会の取り組みで、離島でがん患者を招いた体験談を行ったが、場所探しや会場の撤収の時間が厳しいので、県の方で対応をお願いしたい。また、離島でフォーラムなど行うのであれば、ネットワークがあるので連絡をお願いしたいとのことだった。

4. 他県の情報提供とご相談について

よりよい地域医療を応援する会の南さんより、九州各県の地域連携について情報提供と今後の沖縄県の活動について、以下の提案があった。

- ① パス普及を目的とした、講演会の開催
- ② 臓器別に各拠点のパス責任者会議の開催

③ 浦添医師会との連携案の継続性について

④ 研修部会等、ご支援が必要（可能）な部会について

①について、4月に八重山病院で5大がんと前立腺がんの連携パス研修会を行うことになった。講師は佐村部会長と琉大泌尿器科の呉屋先生とし、金曜日の7時頃で調整することになった。宮古病院は八重山病院での開催後、検討することになった。

②について、佐村部会長より、パスの改訂も含めて、各臓器別でパスを使用している施設で集まって内容を確認してはどうかと提案があった。九州の状況も聞きながら、引き続き4月に検討することになった。

③について、佐村部会長より、連携がうまくいっている浦添でパスを使った連携して頂き、改善点を指摘して頂いてはどうかと提案があり、浦添総合病院と池村クリニックにパスを使用した連携を依頼することになった。

[審議事項]

1. 今年度（平成26年度）事業計画の評価について

増田委員より、今年度の地域ネットワーク部会の事業計画の評価を事務局でたたき台を出したので、内容を確認して頂きたいと依頼があり、変更なく承認された。

2. 次年度（平成27年度）事業計画（案）

佐村部会長より、次年度の事業計画（案）について、事業計画の変更箇所と追加の事業計画について報告があり、承認された。追加があれば随時メール会議で検討することになった。

高江洲和代委員より、那覇市立病院の取り組みについて、以下の通り報告があった。

- ・パスの運用について、滞っている理由やスムーズ行くよう、外科病棟医師、関係部署の看護師、MSW、ドクターエイドにアンケート調査を行ったところ、「パス自体を知らない」「活用する機会がない」などの意見があったことから、毎年勉強会を検討している。
- ・アンケート調査後、先生方が意識したのか件数が増えてきた。
- ・連携した患者の受診歴を調べている。
- ・患者とかかりつけ施設にアンケートを取って、困っている点など調査を進めている。
- ・院内がスムーズに行かないと連携もスムーズに行かないので、中身から建て直しをしようと取り組んでいく。

以上の報告を受けて、琉大でもアンケート調査を行うことになった。

3. 次年度（平成27年度）事業計画予算（案）

仲本委員より、資料6について、次年度の事業計画に必要な経費を記載していることが報告された。部会の中でお金のかかる事業があれば、事務局に相談して頂ければ各拠点での分担を検討したいと思うので、積極的にご意見をお願いしたいとのことだった。

4. 施策提案シートの作成について

増田委員より、がん政策部会からの提案事項で、県で予算化して後押ししてほしい施策があれば出してほしい。沖縄県やがん診療連携協議会に提案事項として出すので、毎回の部会で話し合うよう依頼があったことが報告された。

佐村部会長より、部会事業について行政や予算に関して確認する人が必要と意見があり、再度、沖

縄県に確認し依頼することになった。

5. PDCA やロジックモデルの研修会について

増田委員より、部会の計画の立て方の研修会を 2/14（土）12：00 から 3 時間程度行う予定なので、参加頂きたいと依頼があった。講師は埴岡健一さんで、場所はがんセンター又は琉大の会議室を予定しているとのことだった。

6. その他

真鶴委員より、宮古の患者さんで予約日に急用が出来てキャンセルしたら、もう一度来て予約しないと出来ないと言われたので、離島ならではの負担軽減は出来ないのかと意見があり、ほとんどの病院は電話で受け付けているので、施設および詳細が分かって介入が出来れば介入するになった。

7. 次回の開催について

次回の開催日は、第一候補は 4 月 8 日で、第二候補は 4 月 22 日となった。